

独立行政法人シンポジウム
～社会環境の変化に対応するための独立行政法人のマネジメント～
議事概要

○開催日時：令和6年1月29日（月）15:00～17:00

○開催場所：中央合同庁舎2号館地下2階講堂（YouTubeによるWeb同時配信）

○プログラム内容

・基調講演

「独立行政法人のマネジメントに期待すること」

澤田 道隆 独立行政法人評価制度委員会 委員長（花王（株）取締役会長）

・パネルディスカッション

テーマ「法人の使命を果たすための人材の確保・育成の取組」

<パネリスト>

浅野 透 森林研究・整備機構 理事長

長谷川 史彦 製品評価技術基盤機構 理事長

川埜 亮 住宅金融支援機構 理事

澤田 道隆 独立行政法人評価制度委員会 委員長

栗原 美津枝 独立行政法人評価制度委員会 委員（（株）価値総合研究所代表取締役会長）

清水 剛 独立行政法人評価制度委員会 専門委員（アライン（株）代表取締役CEO）

<モデレーター>

原田 久 独立行政法人評価制度委員会 委員長代理（立教大学法学部教授）

○議事概要

・独立行政法人は、社会環境の変化に対応しつつ、政策実施機能を最大化し、国民生活及び社会経済に貢献することが求められます。

このような取組の推進に当たり、

（1）独立行政法人評価制度委員会が法人のマネジメントに期待すること、その実現を支えるために委員会が果たす役割等についてお伝えするとともに、

（2）独立行政法人の業務運営を支える人材の確保・育成について、先進的な取組事例を基に、理事長等によるリーダーシップや、マネジメントの在り方について議論を深めるため、「独立行政法人シンポジウム」を開催いたしました。

・冒頭、長谷川淳二総務大臣政務官から、独立行政法人が国民生活と社会経済に関し極めて重要な役割を果たしており、本シンポジウムが独立行政法人の活動に対する理解のきっかけとなることを期待する旨の挨拶が行われました。

・独立行政法人評価制度委員会の澤田道隆委員長から、令和4年4月に委員会で決定された、「独立行政法人評価制度の運用に関する基本的考え方」を中心として、委員会が独立行政法人のマネジメントに期待すること、その実現を支えるために委員会が果たす役割等について基調講演が行われました。

・パネルディスカッションでは、パネリストとして、独立行政法人から、森林研究・整備機構（森林機構）の浅野透理事長、製品評価技術基盤機構（N I T E）の長谷川史彦理事長、住宅金融支援機構（J H F）の川埜亮理事に、独立行政法人評価制度委員会から、澤田道隆委員長、栗原美津枝委員、清水剛専門委員に御登壇いただき、モデレーターの原田久委員長代理の進行のもと、まず初めに各法人から取組事例の紹介が行われました。

浅野理事長（森林機構）からは、多様な人材活躍の促進や、ワーク・ライフ・バランス向上に向けた取組など同機構が行うダイバーシティ推進の取組を中心に、人材確保・育成の観点から、取組の背景や課題、今後の展望などについて御紹介いただきました。

長谷川理事長（N I T E）からは、N I T Eにおける人材育成全般の取組を御紹介いただきました。その中でも特にデジタル人材の確保・育成の取組として、組織内のデジタルリテラシー向上に向けた役職員全員の I T パスポート取得推奨の取組や、組織の生産性向上を先導するデジタルスペシャリストの確保・育成にチャレンジするため、法人に必要なデジタル人材のスキルマップ作成などの取組について御紹介いただきました。

川埜理事（J H F）からは、法人の社会的意義を示すパーパスの制定による法人の使命の浸透、専門人材確保を目的としたダイレクトリクルーティング、また、役職員のモチベーション向上に資する取組として、20年近く行われている「カイゼン活動」などについて御紹介いただきました。

その後、3法人の取組の背景や課題、工夫された点について深掘りをするとともに、組織のパフォーマンス向上に資する人的資本の最大化・最大活用等について意見交換が行われました。

○アーカイブ動画【総務省YouTubeチャンネル】

<https://www.youtube.com/playlist?list=PL7PI1161-EVL8j1X-UHXcLR0qhvNdoJ5c>

